

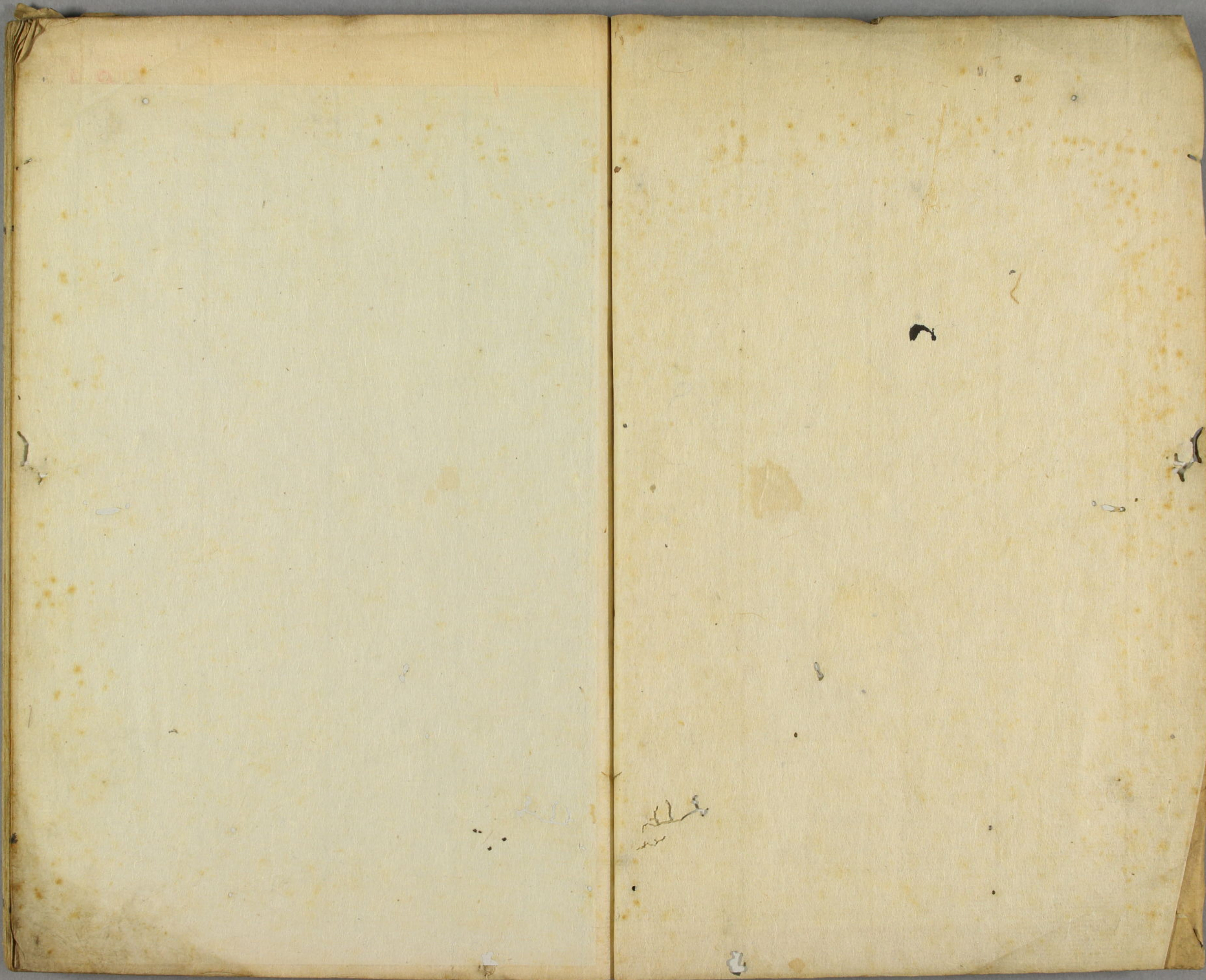


要語歌

全

9
3618





門 9
號 3618
卷



執友野田翁覃思經業戴白不倦旁
以和歌自娛嘗與吾先子同典秘書

局務餘暇風月唱酬莫逆子心近日
摘取格言要語於經史諸子百家之
書以和歌譯之得二百首以便童習
蓋聖人之道出於天倫豈有古今東

昭和
六月
六日
書

西之殊耶中古

天朝有遺唐之使留學之生必求典
章文物于彼至我江都矣葉相
承興學崇道於是為弥盛矣然輓
近學儒者暗於皇邦典故為國
學者不達經傳大旨互相矛盾妄言
眩俗是甚可惡也此編所著豈啻訓

序一

等童穉乎抑之可以二者彼此解通
矯彼流弊矣但翁於和歌務倣古體
異乎余之撰雖然余嘉其意之純而
言之得要寧以未技同矣而拒之哉若
夫童蒙諷習久熟則他日為學而
學為官而友其子風化豈曰小補哉於
是乎序

易大畜象曰
天在中大畜
君子以多識
前言往行以
畜其德

おほよみ

おほよみ 人のことばをなせおほよみ
よ事なるをいふおほよみおほよみ
たつとよとおほよみおほよみ
のよをいふおほよみおほよみ
しつとよとおほよみおほよみ
集りおほよみおほよみ
の書とよとおほよみおほよみ
その書とよとおほよみおほよみ
よとよとおほよみおほよみ
この書とよとおほよみおほよみ

習慣如自然同上

慈母多敗子 非非子

身體髮膚受之父母不敢
毀傷孝之始也

立身行道揚名於後世而
以顯父母孝之終也

孝者實之實 莊子

孝子之養老也樂其心不
違其志樂其耳目安其寢
處以其飲食忠養之

忠がはたさるるもあさきなり

あれてしよもあさきなり

たらしめるの母れあさきなり

あさきなり

これの身は髪も膚も

はらひあさきなり

あさきなり

あさきなり

あさきなり

あさきなり

一

子夏問孝子曰色難

孝子之有深愛者必有

和氣有和氣者必有愉

色有愉色者必有婉容

夙興夜寐無忝爾所生

孝衰於妻子 說苑

孝者德之本也

於所厚者薄無所不薄

あさきのまはあさきなり

あさきなり

あさきなり

あさきなり

あさきなり

あさきなり

あさきなり

あさきなり

あさきなり

あさきなり

五刑之屬三千而罪莫大

于不孝之人天所不容地

所不載幽為鬼神所責

明為官法所誅不可不

戒也朱子

宗族於吾固有親疎然吾

祖宗視之則均是子孫固

無親疎也范文正公

惟孝友于兄弟克施于有

政居家而理故治可移於官

愛親者不敢惡於人敬親

者不敢慢於人

愛人者則人愛之惡人者

則人惡之家語

父母雖沒將為善思貽父

母令名必果將為不善思

貽父母羞辱必不果

子考而歲

子考而不歲則敗其父

真正山

善事父母曰孝兩雅

朱子幼時就傅授以孝經

一閱襲其上曰不若是非

人也行狀

若日月之照臨光于四方

御民吾生有驗在天地之

榮時雨相樂念者

くまぐらつておれなれど志がわや

種 種

とわらわの心をほひひらりつ

速 祖

あはれりもあつそふすな

親族

おふありもあつそふすな

兄弟

おふありもあつそふすな

公事

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

おふありもあつそふすな

君子不以言舉人
以言舉人若以毛相馬盧
鉄論

禹稱善人不善人遠

竟有敢諫之鼓舜有誹謗
之木呂氏春秋

人君之賢莫大於善易
入也胡致堂

先民有言詢于芻蕘

太山不辭礫石江海不辭小

流所以成大也韓詩

是非之所在不可以貴

賤尊卑論淮南子

有言逆于汝心必求諸道

有言過于汝志必求諸非

道

良藥苦口利於病忠言

逆於耳利於行家語

あつてはこゝろをさし馬の毛をいりて

駿馬駑馬 驚馬

けしんものこゝろをさしやハ

善人親とてしつゝおのづ

あつてはこゝろをさしやハ

いさめれつゝ得おのづ

あつてはこゝろをさしやハ

あつてはこゝろをさしやハ

あつてはこゝろをさしやハ

あつてはこゝろをさしやハ

子路人告之以有過則喜
仲由喜聞過令名無躬焉
周茂叔

其身正則不令而行其身
不正雖令不從

惠而因威則不畏陸宣公

威而因惠則不懷同上

以生道殺民雖死不怨殺
者

廢立李平皆有罪嘗為諸
葛亮廢及聞亮卒垂泣曰
吾終為左社矣平亦為之
發病死三國志

あつてはこゝろをさしやハ

あつてはこゝろをさしやハ

あつてはこゝろをさしやハ

あつてはこゝろをさしやハ

あつてはこゝろをさしやハ

あつてはこゝろをさしやハ

あつてはこゝろをさしやハ

あつてはこゝろをさしやハ

あつてはこゝろをさしやハ

あつてはこゝろをさしやハ

居安思危思則有備有備無患逸書

早思莫舟熱思具衣天下之名言也郁離子

不矜細行終累大德為山九仞功虧一簣

漢昭烈將終勅後主曰勿以惡小而為之勿以善小而為之三國志

怨毒之於人甚哉史記 偏聽生姦鄒陽

禍莫大於不知足咎莫大於欲得故知足之足常足老子 禍生於欲得福生於自禁

良禽擇木而栖良臣擇主而仕三國志

君子之事親孝故忠可移於君

能孝於親則必能忠於君矣求忠臣必於孝子之門也孔安國

天之所生地之所養莫貴乎人人之道莫大乎父子之親君臣之義說苑

事君能致其身臣之事君猶子之事父東西南北惟命之從此古今不易之理也朱子

勞而不伐有功而不德厚之至也

善則稱君有過則稱己則人作忠

みせ月のたまにけく照りしを

あつたさうあていわけ叢

癒ふらうしけしけしけし具

らうらうらうらうらうらう

夏野むくをの角はけり束

あつたさうらうらうらうらう道

うらうらうらうらうらうらう狂

人らうらうらうらうらうらう

らうらうらうらうらうらう

らうらうらうらうらうらう

屋漏者民去之水淺者魚逃樹高者鳥宿德厚者士趨之有禮者民畏之忠信者士死之說苑

らうらうらうらうらうらう

らうらうらうらうらうらう集

らうらうらうらうらうらう

らうらうらうらうらうらう

らうらうらうらうらうらう

らうらうらうらうらうらう

らうらうらうらうらうらう君子

らうらうらうらうらうらう代

らうらうらうらうらうらう稱

らうらうらうらうらうらう頁

見不賢而内自省也

子弟宜可終歲不讀書不可一日近小人刘元城

此言極有味朱子

身不用礼而望礼於人身不用德而望德於人乱也家語

衆惡之必察爲衆好之必察爲

不牽乎卑乱之語不奪

乎衆多之口鄒陽

所好生毛羽所惡成瘡痛文選

君子常失於厚小人常失於薄程子

人のあつてをみるは

つやにんともか

あつてをみるは

ひつびをびるは

あつてをみるは

あつてをみるは

あつてをみるは

あつてをみるは

あつてをみるは

あつてをみるは

犯而不校

知其小人便以小人處之更不須校也韓契

大丈夫當容人勿爲所

容也朱子

輕諾必寡信老子

孔子曰晏平仲善與人交久而敬之

學者所以學爲人也學而至於聖人亦不過盡爲人之道而已

吾野川がやん今をいひ

口をいひ人となつて

いひていひていひて

いひていひていひて

いひていひていひて

いひていひていひて

いひていひていひて

いひていひていひて

いひていひていひて

いひていひていひて

事以急而敗者十常七八程子

處至急之事愈宜緩羅近溪

正其誼不謀其利明其道不謀其功董子

學莫先於我利之辨而義者本心之所當為而不能自己非有所為而為者也張南軒

職事不可以巧免程子

人之所畏不可不畏老子

忍之一字衆妙之門當官處事尤是先務若能清慎

勸之外更行一忍何事不辨書曰必有忍事其乃有

濟此處事之本也諺有之曰忍事敵災星沙陵詩曰

忍過事堪喜此皆切於事理為世大法非空言也王

沂公嘗說喫得三斗醋醋方做得宰相言言忍受得事也呂東萊

事以急而敗者十常七八
處至急之事愈宜緩
正其誼不謀其利明其道不謀其功
學莫先於我利之辨而義者本心之所當為而不能自己非有所為而為者也
職事不可以巧免
人之所畏不可不畏老子
忍之一字衆妙之門當官處事尤是先務若能清慎勸之外更行一忍何事不辨書曰必有忍事其乃有濟此處事之本也諺有之曰忍事敵災星沙陵詩曰忍過事堪喜此皆切於事理為世大法非空言也王沂公嘗說喫得三斗醋醋方做得宰相言言忍受得事也

造身造身少間不忍終身

之羞武王席銘

小不忍則亂大謀

如婦人之仁匹夫之勇皆是

能於怒時遽忘其怒而觀理是非程子

惡言不出於口忿言不反於身

人雖至愚責人則明雖有聰明恕已則自范忠宣公

工於論人者察已常疎

鸚鵡能言不離飛鳥中畧

今人而無禮雖能言不亦禽獸之心乎

上蔡先生有言

汝未孝者

証言真如鸚鵡此言深可

畏耳朱子

造身造身少間不忍終身之羞
小不忍則亂大謀
能於怒時遽忘其怒而觀理是非
惡言不出於口忿言不反於身
人雖至愚責人則明雖有聰明恕已則自范忠宣公
鸚鵡能言不離飛鳥中畧今人而無禮雖能言不亦禽獸之心乎
上蔡先生有言汝未孝者証言真如鸚鵡此言深可畏耳

得而不喜失而不怒
分之無常也莊子

成敗之轉譬言如糾墨史記

吾未見吝於財而為善者
也程子

凡殖貨財產貴其能施賑
也否則守錢虜耳馬融

魯哀公謂孔子曰有入好富
忘若移宅乃忘其妻孔子

曰又有好忘甚於此者樂
紂之君忘其身貞觀政要

愚人貪財如蛾赴火文選

馬融奢借文武之道未嘗
留意時謂酒囊飯袋荆湖

近事

しる事の始りさるもの時りまら

梅りからたふの中ぞが

たりしりえんしるものりま

またその身をりひえぬや

しるものりまらるる人ら

しるものりまらるる人ら

長じり火よ入るるりり

しるものりまらるる人ら

酒囊飯袋

しるものりまらるる人ら

逐獸者目不見大山嗜欲
在外則明所蔽矣淮南子

物有不可忘或有不可不
忘人之有德於我也不可

忘也吾有德於人也不可
不忘國策

施人慎勿念受施慎勿忘
崔瑗座右銘

天行健君子以自強而不
息也

鄉道而行中道而廢忘身
之老也不知年數之不足

也俛焉日有孳々斃而后
已

讀書雖多而無所解可謂
書籠晉書

けごものをみる持人ものり

しるものりまらるる人ら

道理然然しるものりまらるる人ら

しるものりまらるる人ら

しるものりまらるる人ら

しるものりまらるる人ら

しるものりまらるる人ら

しるものりまらるる人ら

しるものりまらるる人ら

身也者父母之遺體也行
 父母之遺體敢不敬乎居
 處不莊非孝也事君不忠
 非孝也泄官不敬非孝也
 朋友不信非孝也戰陳無
 勇非孝也五者不遂我及
 其親敢不敬乎
 人莫不有一死死或重於
 泰山或輕於鴻毛用之所
 趣異也司馬遷

山の井うめさだまふく流しお
 あふたぐへくかまやあふこ
 おやれここのなるふも
 とにちつがまふれれどあふ
 かりめつとるぶここのふあ
 めやれ
 大とりの日からあつたのあ
 ふむひくたじふ
 ひり矢とだたつるもさふ
 らふ矢とバ何とせんかるとた

推天地萬物之父母
 天地之大徳曰生
 樹木以時代鳥禽獸以時
 殺鳥天子曰斷一樹殺一
 獸不以其時非孝也
 乾称父坤称母中畧物吾
 與也西銘
 仁孝同源故孝必仁而
 仁必孝木不妄伐獸不
 妄殺此仁也亦孝也真
 正山

満招損謙受益
 謙亨天道下濟而光明地
 道卑而上行天道虧盈而
 益謙地道變盈而流謙下
 略

かいのちとだけのを清らりもあ
 りんご
 香げごものもいろくがもよに
 なるなるさかひまふみる天地
 のこのごふましむるそのぞ
 徳
 ちこのちとわりとくおのひ
 理
 そのちとくくくくくく
 うくく月みつるかどんん
 そのちとくかあふさりさく
 ち月とつやまふくくく

故不可長欲不可從志不可滿樂不可極

君子不盡人之歡不竭人之忠以全交也

夜成則缺社官成則缺隅示不成者天道然也

君子所無逸

天行健君子以自強不息

なぐくむるをさうくはと思ふ
何ぞもあさたうんとむさ
か
天行とつらな月も日と秋も
いふはむぐむくこれらにい
ていふの結乃らんのかざりい
う
ゆふもくさうさうこのゆく
ゆふもくさうさうこのゆく
ふがれいさうなうくさうさ

人尚有恒

不恆其德或承之羞

商人有言人而無恒不可耐

以作証鑿

ふがれいさうなうくさうさ
ふがれいさうなうくさうさ
ふがれいさうなうくさうさ
ふがれいさうなうくさうさ
ふがれいさうなうくさうさ



さのもいさうや人のさうさ
あごまりさうなうくさうさ
なうさ

歳寒然後知松柏之後凋也

歳不寒無以知松柏事

不難無以知君子

あゆれいさうとあゆれいさう
もあゆれいさうとあゆれいさう
あゆれいさうとあゆれいさう
あゆれいさうとあゆれいさう

とれいさう

とれいさうとあゆれいさう
とれいさうとあゆれいさう
とれいさうとあゆれいさう
とれいさうとあゆれいさう

富貴自有定分奔趨而得者不過一二奔趨而不得者蓋千萬人世人終以一二者之故至於勞心費力老死無成者多矣不知他人奔趨而得亦其定分中所有者若定分中所有雖

とれいさうとあゆれいさう
とれいさうとあゆれいさう
とれいさうとあゆれいさう
とれいさうとあゆれいさう

不奔趨遲以歲月亦終必得袁采

百川東到海何時復西歸少壯不努力老大徒傷悲沈休文詩

子生男子射人以桑弧蓬矢六射天地四方載寢之牀載衣之裳載弄之璋

さしおころり
おりのば今ハ山のそふのげさ
がささくくやいやむさく
色し月白ぞとくまへむかき
かのひし
むうさのころまらねばそのほご
ごをさへなり素れらり
蓮の夫のたけらひあふまれば
なるゆつりいねめをぬきせて
玉とさづくもさへなり

乃生女子載寢之地載之衣
裼載弄之瓦

放於利而行多怨
禍福自己無不求之者
禍福無門惟人所招左氏
禍不好不能為禍同語
禍福非後地中出非從天
上來已自生之說先

龍蟠于泥玩其肆矣玩哉
玩哉惡觀龍之志也歟楊
子雲

サ
ふと急むつさきすさぐく
座
ろそのよくわめさそとそとあ
ちうをへたり
あふれうれさふ値り乃これ
白水郎蒨藻
うくうとあかきハけさり
ふかきさかきなり
みそくわくさあつちかむ
泥
龍
醜
潜

詩教童子。朝夕歌之。朱闡程夫子果有其素也。若為和歌以教之。則其曉之尤易。而無令習雅馴。庶幾大有助於人。是所以有斯書也。亦可以見其至誠惻惻之意矣。君之學宗紫陽。務躬行實履。雖賢稟之美。亦學問之力有濟之也。斯書之就。使予跋之。顧先君子之所畏。而與先君子交尤密者。莫君若。而父執之予之所敬事。亦莫君若。况先君子之去世。諸結交者。以於次凋。所衰落。而唯君在焉。則義不得辭。遂書其後。

丁丑臘月念二增島固潭識

古愚堂藏板
要語歌
手磨理歌

